

「サル」に効果あり「おじろ用心棒」

サルが出没する地域での露地野菜・果樹の栽培には、獣害対策が重要です。対策ができず、栽培をあきらめているという方もおられるのではないのでしょうか。

野菜や果樹をサルから守る獣害柵「おじろ用心棒」を紹介します。おじろ用心棒とは、1mの金網柵(10cm角)の上に電気柵を3段張った獣害防止柵です。シカ・イノシシ・小型獣のほか二ホンザルにも効果があります。

設置するときの注意点は、家屋や大きな木からサルが飛び込まないように2m以上空けて設置する（または、木を伐採する）ことです。

資材単価は、約1,000円/m（電ほく器を除く）程度です。管内で展示ほを設置していますので、現物を御覧になりたい方は当課まで御連絡ください。



「おじろ用心棒」の展示ほ

令和3年度からリンドウの市場出荷が始まりました

リンドウは濃い青紫色の花を咲かせることから、貴重な青色花材として人気があります。特に8月盆を中心に仏花向け花材として人気が高く、直売所のほか京都・大阪の市場でも需要が多い品目です。

リンドウの栽培には、夏期に比較的冷涼な気候と灌水設備の整った水持ちのよいほ場が適します。管内では5年程前から中山間地の休耕地を中心に栽培推進を行ってきました。近年は暑さに強い品種も開発され、湖辺地域の水田でも栽培が行われています。

令和3年に初めて、管内の生産者のうち個人1名と集落営農組合1法人が京都向けに市場出荷されました。栽培面積は小さいですが、7月上旬から10月上旬にかけて小ロットでの断続的な出荷を行うことができました。

多年生植物のため据え置き栽培が必要となりますが、保水性の高さから湿害に遭いやすく畑作物の栽培が難しいほ場の有効活用策として、リンドウの栽培もぜひ御検討ください。



リンドウの花



箱詰めされたリンドウの切り花